MZK-W300NH3

User’s Manual

目次

第 1 章:本製品について

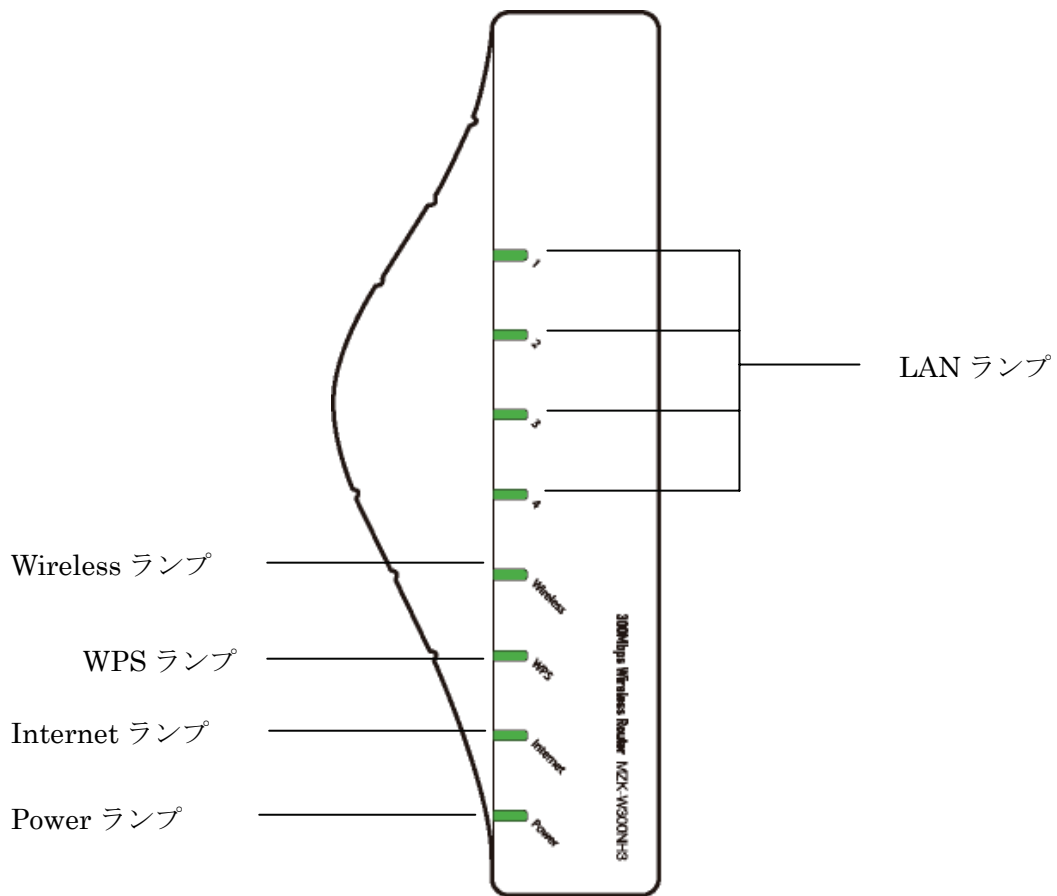
1.1 付属品

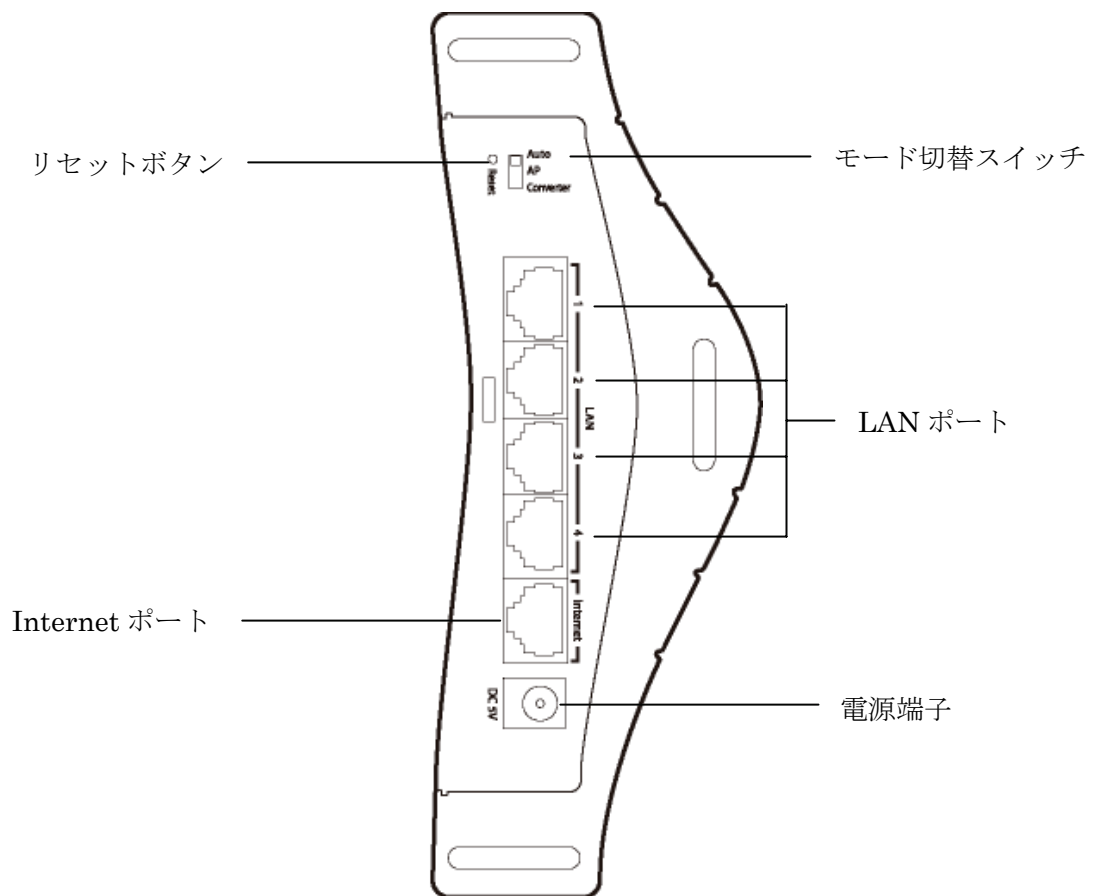
本製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品をご使用になる前に、同梱されている付属品をご確認ください。パッケージ内容に欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

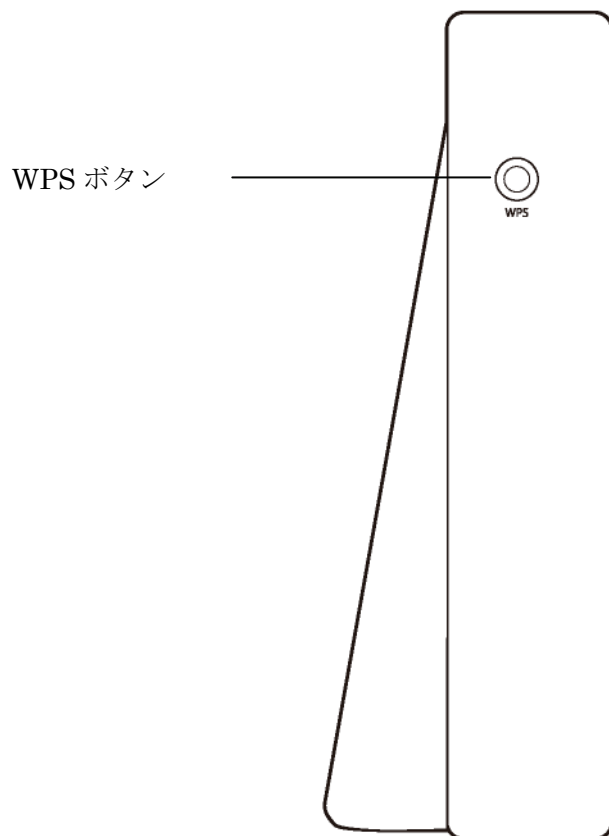
	同梱物	数量	
1	MZK-W300NH3(本製品)	1	□
2	AC アダプタ	1	□
3	LAN ケーブル	1	□
4	ルータ・アクセスポイント設定ガイド	1	□
5	コンバータ設定ガイド	1	□
7	安全に関する説明書/保証書	1	□

1.2 各部の名称とはたらき

本製品各部の名称について説明します。

本体前面

ランプの名称	色	機能説明	
LAN ランプ	緑	点灯	リンクしている状態です。
		点滅	データを送受信している状態です。
		消灯	リンクがない状態です。
Wireless ランプ	緑	点灯	ワイヤレスが有効の状態です
		点滅	データを送受信している状態です。
		消灯	ワイヤレスが無効の状態です。
WPS ランプ	緑	点灯	WPS 機能がオンの状態です。
		点滅	WPS 接続を試みています。
		消灯	WPS 機能がオフの状態です。
Internet ランプ	緑	点灯	リンクしている状態です。
		点滅	データを送受信している状態です。
		消灯	リンクがない状態です。
Power ランプ	緑	点灯	電源がオンの状態です。
		消灯	電源がオフの状態です。

本体背面

リセットボタン	リセット（初期化） 電源がオンの状態で、リセットボタンを 10 秒以上長押しして、離します。 本製品を工場出荷時の設定にリセットされ再起動します。
モード切替スイッチ	本製品の動作モードを設定します。 AUTO： ネットワーク環境を自動判別して、ルータとアクセスポイントを自動的に切換えます。※通常はこのモードを使用します。 Router：ルータモードで動作します。 AP：アクセスポイントモードで動作します。
LAN ポート	ご使用のローカルエリアネットワークと接続します。
Internet ポート	ご使用のインターネット回線に付属の LAN ケーブルで接続します。
電源端子	付属の AC アダプタを接続します。

本体底面

WPS ボタン	ボタンを 3 秒長押しして手を離すと、WPS ランプが点滅します。 WPS（無線 LAN 簡単設定機能）接続を行うときに使います。

1.3 機器の接続

本製品を通信機器、またはインターネット回線に接続します。

1.3.1 はじめに

本製品「Router（ルータモード）」、「AP（アクセスポイントモード）」の他に、自動的にインターネット回線を認識する「Auto（オートモード）」があります。
「Router（ルータモード）」、「AP（アクセスポイントモード）」はそれぞれに切り替えて設定する事が可能ですが、本マニュアルでは「Auto（オートモード）」での設定方法を説明します。

1.3.2 接続方法

1. 本製品底面のモード切替スイッチが「Auto」側になっていることを確認します。
※「Router」または「AP」になっているときは、「Auto」側に切換えてください。

2. モデム※と設定用パソコンの電源をオフにします。
   ※モデムとは、プロバイダや回線事業者から、レンタルされている機器をここでは指します。
      例：ADSL モデム、ケーブルモデム、終端装置（ONU・CTU）など

3. 本製品背面の Internet ポートとモデムの LAN ポート※を既存の LAN ケーブルで接続します。
   ※モデムの機種によって LAN ポートの名称は異なります。
      例：「PC」、「パソコン」、「Ethernet」など

4. 本製品背面の LAN ポート（1～4 のいずれか）と設定用パソコンの LAN ポートを付属の LAN ケーブルで接続します。

5. モデムの電源をオンにします。

6. 付属の AC アダプタを本製品背面の電源端子とコンセントに接続します。

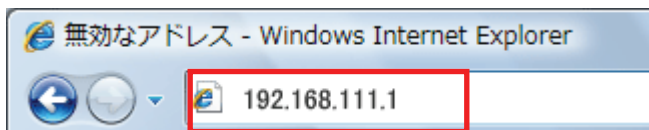
7. 本製品前面の「Power」ランプ・「WPS」ランプ・「Wireless」ランプが点灯、「Internet」ランプが点灯または点滅することを確認します。
   ※各ランプが点灯（または点滅）するまで 3 分ほどかかります。
   ※ランプが点灯または点滅しない場合は、LAN ケーブル及び、AC アダプタがしっかりと挿し込まれているか確認してください。

8. 設定用パソコンをオンにします。

1.4 本製品設定画面へのログイン方法

本製品設定画面にログインする方法を説明します。

1. WEB ブラウザを起動します。

2. アドレス欄に IP アドレス「192.168.111.1」を入力し、<Enter>を押します。

※ 「ルータモード」で動作しているときは、アドレス欄に 「192.168.111.1」と入力して、ログイン画面を表示することもできます。

※ 「アクセスポイントモード」で動作しているときは、アドレス欄に「192.168.1.250」と入力して、ログイン画面を表示してください。

※ 「コンバータモード」で動作しているときは、アドレス欄に「192.168.1.249」と入力して、ログイン画面を表示してください。

※ お使いの環境により、WEB ブラウザが起動するまで時間がかかることがあります。

※ **ログイン画面が表示されずに、エラー画面が表示されたり、検索ページに移行するときは、本製品の IP アドレスがお使いの環境に更新されています。P14 の「本製品の IP アドレスを確認する」を参照してください。**

3. ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
   (1)ユーザ名：半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力
   (2)パスワード：半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュー・オー・アール・ディー)を入力
   (3)[OK]をクリックします。

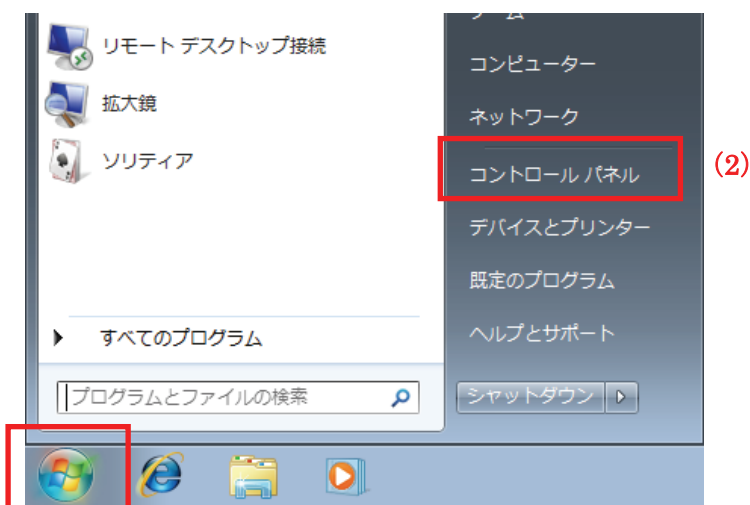
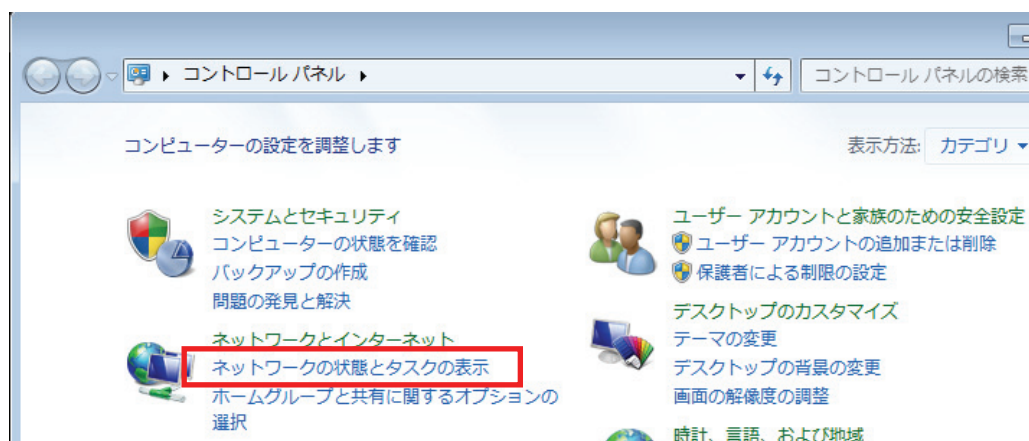
4.　設定画面が表示されることを確認します。

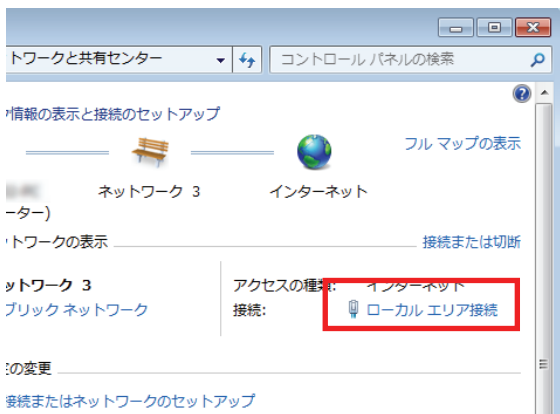
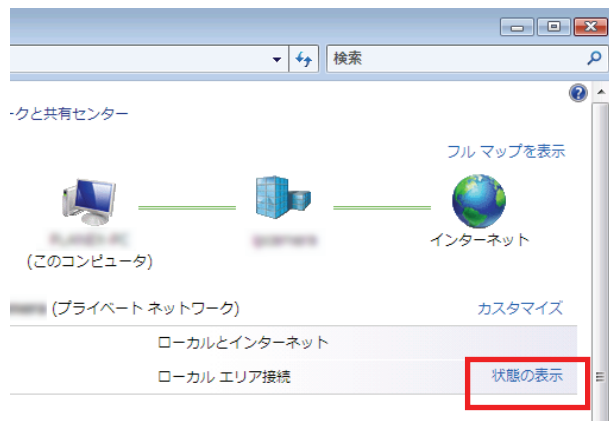
＜本製品の IP アドレスを確認する＞

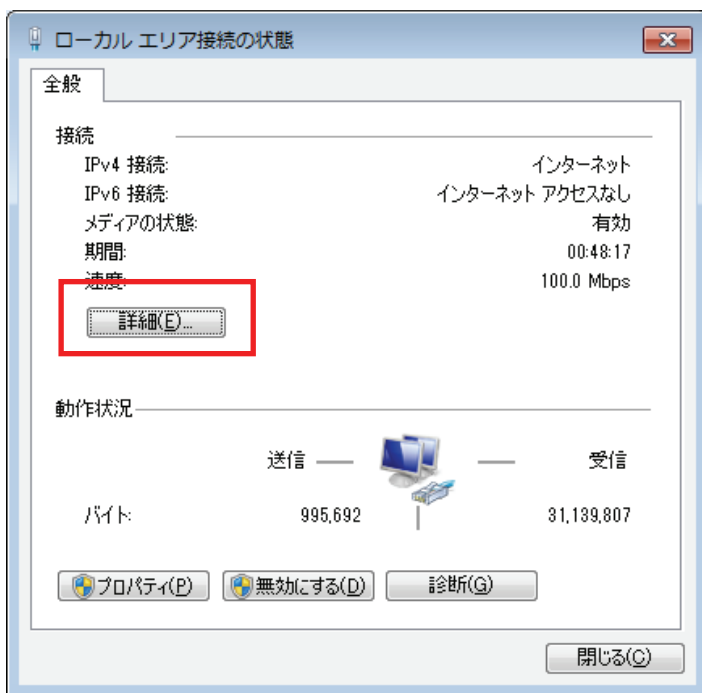
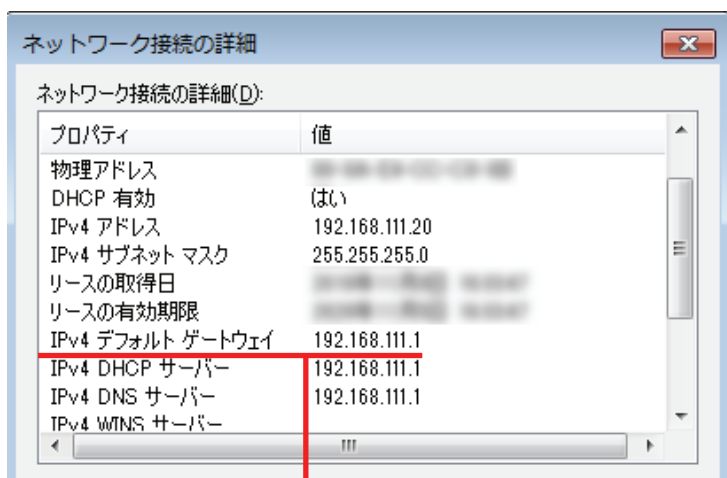
お使いの環境に更新された本製品の IP アドレスを確認します。

■ Windows 7／Vista のとき

※手順では Windows 7 で説明していますが、Windows Vista も同じ手順となります。

1. ①「スタート」ボタンをクリックします。
   ②「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

※Windows 7 でアイコン表示の場合や、Windows Vista でクラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. Windows 7 のとき　　　　　　Windows Vista のとき

「ローカルエリア接続」をクリックします。

「状態の表示」をクリックします。

4. 「詳細」をクリックします。

5. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、

「192.168.111.250」とメモに取ります。

例) 「192.168.3.1」のときは、「192.168.3.250」となります。

●コンバータモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、

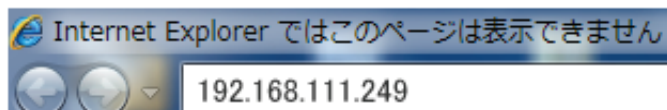
「192.168.111.249」とメモに取ります。

例) 「192.168.3.1」のときは、「192.168.3.249」となります。

5. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 4 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

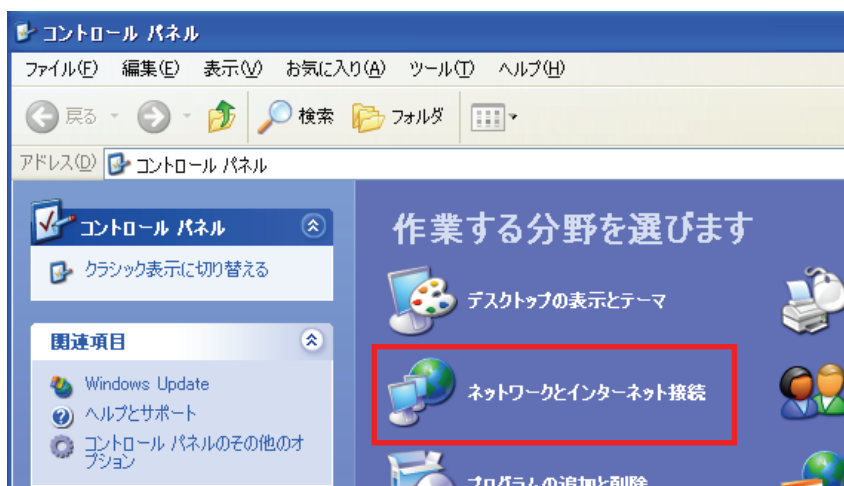
※左記の画面はサンプルです。

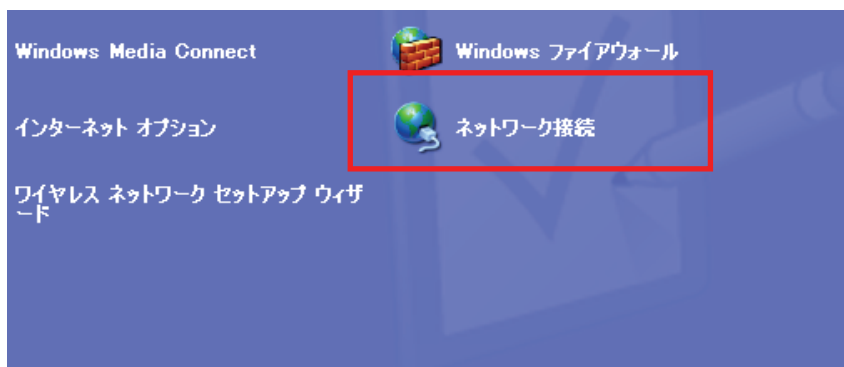
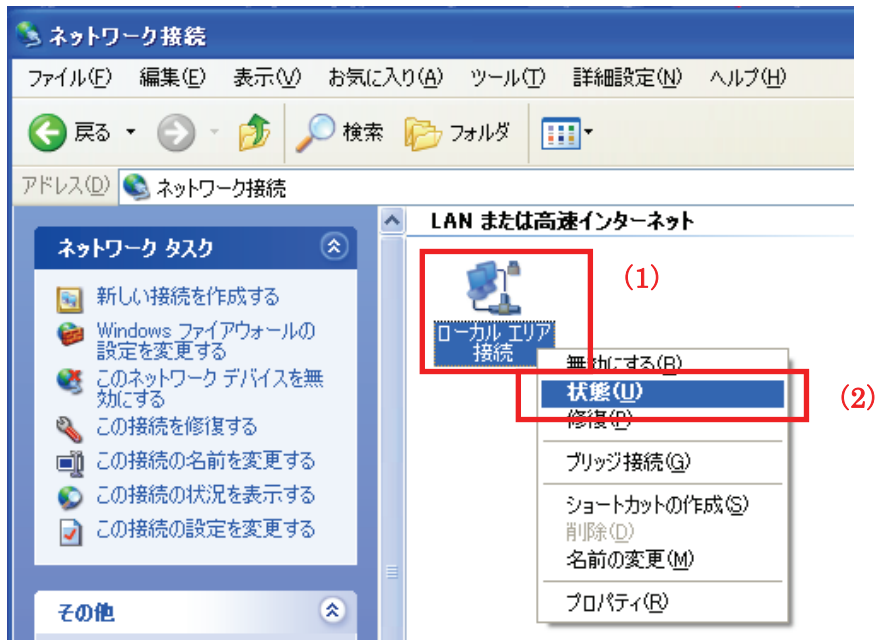
●コンバータモードで動作している本製品にログインするとき

※左記の画面はサンプルです。

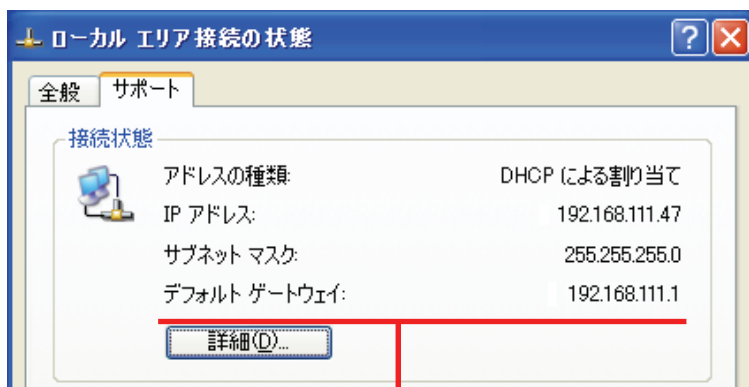
6. 「1.5 本製品設定画面へのログイン方法」の手順 3 に戻ります。

■ Windows XP のとき

1. ①「スタート」ボタンをクリックします。
   ②「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

※クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進みます。

3. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックをクリックします。

4. ①「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックします。
②「状態」をクリックします。

5. 「サポート」タブをクリックします。

6. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「デフォルト ゲートウェイ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、**「192.168.111.250」とメモに取ります。**

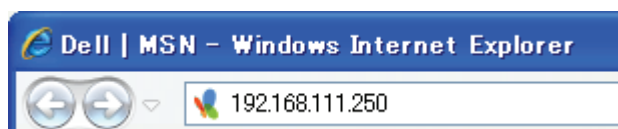
例）「192.168.3.1」のときは、「192.168.3.250」となります。

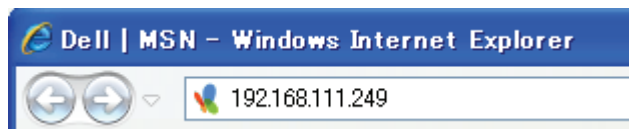
●コンバータモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、**「192.168.111.249」とメモに取ります。**

例）「192.168.3.1」のときは、「192.168.3.249」となります。

7. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 6 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

※左記の画面はサンプルです。

●コンバータモードで動作している本製品にログインするとき

※左記の画面はサンプルです。

8. 「1.5 本製品設定画面へのログイン方法」の手順 3 に戻ります。

■ Mac OS X のとき

1. ①「アップルメニュー」をクリックします。
   ②「システム環境設定」をクリックします。

2. 「ネットワーク」をクリックします。

3. 画面左の「Ethernet…」をクリックします。
   ※Mac OS X 10.4 のときは、「表示」欄から「（内蔵）Ethernet」を選択し、「TCP/IP」タブをクリックします。

4. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「ルータ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「ルータ」が「192.168.111.1」のときは、**「192.168.111.250」とメモに取ります。**

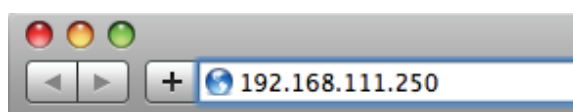
例）「192.168.3.1」のときは、「192.168.3.250」となります。

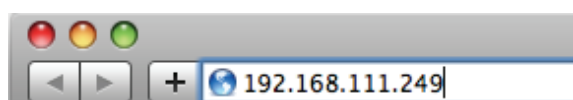
●コンバータモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「ルータ」が「192.168.111.1」のときは、**「192.168.111.249」とメモに取ります。**

例）「192.168.3.1」のときは、「192.168.3.249」となります。

5. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 4 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

※左記の画面はサンプルです。

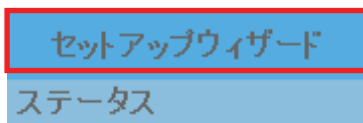
●コンバータモードで動作している本製品にログインするとき

※左記の画面はサンプルです。

6. 「1.5 本製品設定画面へのログイン方法」の手順 3 に戻ります。

第 2 章:セットアップウィザードを使う

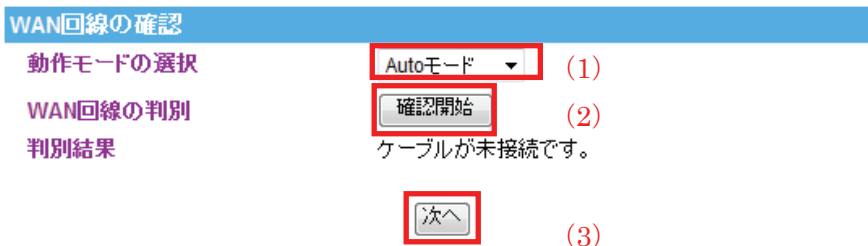
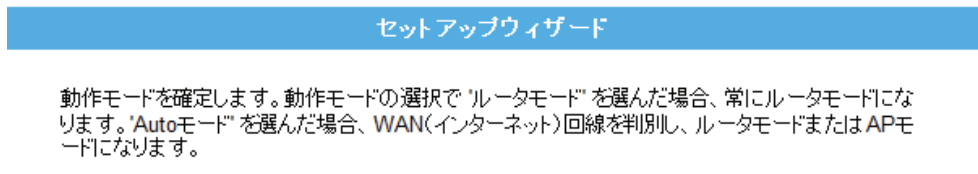
2.1　セットアップウィザード

ここでは、セットアップウィザードを使って、本製品の初期設定を行う方法を説明します。

1.　左側メニューから「セットアップウィザード」をクリックします。

2.　WAN 接続の種類を判別します。

（1）動作モードの選択から「Auto モード」を選びます。

（2）確認開始ボタンをクリックすると、WAN 接続の種類を自動で判別します。

（3）判別結果が表示されたら[次へ]をクリックします。

3.　WAN ポートのインターネット接続の設定をします。

【A】判別結果が「DHCP クライアント」のとき

（A−1）［次へ］をクリックします。

セットアップウィザード

WAN(インターネット)回線の設定を行います。

WANセットアップ

WAN接続タイプ　DHCP接続

Internet側に存在するDHCPサーバからIPアドレスを自動取得します。多くのCATV接続がこの方式を採用しています。ネットワーク機器側に何の設定も必要とせずモデム等と通信可能であった環境の場合は、プロバイダがこの方式を採用している可能性が高いと考えられます。

(A-1)

【B】判別結果が「PPPoE」のとき

（B−1）「PPPoE」を選びます。

フレッツスクエアを利用する場合、PPPoE タイプから「マルチ PPPoE」を選びます。

（B−2）「マルチ PPPoE」を選んだときは、マルチ PPPoE 接続先から「ネクスト東日本」、「ネクスト西日本」、「フレッツ東日本」、「フレッツ西日本」を選びます。

（B−3）プロバイダから指定されたユーザ名（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角英数で入力します。

（B−4）プロバイダから指定されたパスワード（例:abcDEF123）を半角英数で入力します。

（B−5）［次へ］をクリックします。

セットアップウィザード

WAN(インターネット)回線の設定を行います。

WANセットアップ

WAN接続タイプ	PPPoE接続	
PPPoEプロトコルを使用して、プロバイダからIPアドレスを自動取得します。PPPoEサーバからIPアドレスを取得するためには、接続先ユーザ名と接続先パスワードが必要となります。		
PPPoEタイプ	PPPoE	(B-1)
マルチPPPoE接続先	ネクスト 東日本	(B-2)
ユーザ名		(B-3)
ユーザ設定		(B-4)
サービス名		
接続タイプ	常時接続　接続　切断	
待機時間	5	(1〜1000分)
MTU値	1452	(1360-1492 bytes)

キャンセル　戻る　次へ　(B-5)

LAN の各種設定を行います。

（1） IP アドレスを指定します。

※初期値は「192.168.111.1」ですが、接続するネットワークの構成によって表示される IP アドレスは異なります。

（2） サブネットマスクを指定します。

※初期値は「255.255.255.0」です。

（3） [次へ]をクリックします。

4. 無線 LAN の基本設定を行います。

(1) 無線モードを「2.4GHz （B）」「2.4GHz（G）」「2.4GHz（N）」「2.4GHz（B+G）」「2.4GHz（G+N）」「2.4GHz（B+G+N）」の中からいずれかを選びます。

※初期値は「2.4GHz（B+G+N）」です。通常はこちらを選びます。

(2) ネットワーク名（SSID）を半角英数で入力します。

※初期値は「ap-game-●●●●●●」です。●部分は製品毎に異なります。

(3) チャンネル幅を「20MHz」または「40MHz」から選びます。

※初期値は「40MHz」です。

(4) チャンネルを「自動」または「チャンネル 1～13」のいずれかから選びます。

※初期値は「自動」になります。

(5) [次へ]をクリックします。

5. 無線 LAN セキュリティの設定を行います。

暗号化キーを用いた WEP または WPA を設定し、無線 LAN ネットワークへの不正アクセスを防止できます。

※すでにゲーム機や無線 LAN 内蔵パソコンなどを、初期状態の「ap-game-●●●●●●(●●●●●●●は製品ごとに異なります)」に接続していたときは、変更した内容に再接続してください。

【A】WEP のとき

(1) 暗号化から「WEP」を選びます。

(2) キー長から「64-Bit」または「128-Bit」を選びます。

(3) キーフォーマットから「16 進数」または「文字列」を選びます。

(4) キー設定に暗号キーを任意に半角英数で入力します。

以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数	文字列
64-Bit	10 桁	5 文字
128-Bit	26 桁	13 文字

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※文字列の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

(5) [終了]をクリックします。

【B】WPA･WPA2･WPA2 Mixed のとき

（1） 暗号化から「WPA」「WPA2」「WPA2 Mixed」のいずれかを選びます。

（2） WPA（WPA2）暗号化から「TKIP」「AES」のいずれか、または両方にチェックを入れます。

※「WPA」及び「WPA2」のときは「AES」のみ、「WPA2 Mixed」のときは「TKIP」と「AES」の両方のチェックが可能です。

（3） プレシェアードキーを任意に 8～63 文字の半角英数で入力します。

※入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

（4） [完了]をクリックします。

※「WPA2 Mixed」の画面で説明しています。

6. 「設定の変更に成功しました」の表示後、本製品が再起動します。

システムメッセージ

設定の変更に成功しました!

電源を切ったり、再起動させないでください。

しばらくお待ちください。 38 秒 ...

以上で設定は完了です。

第 3 章:WEB 設定画面を使う

ここでは、各設定画面について説明します。

3.1　ステータス

WEB 設定画面にログインすると、最初に「ステータス」画面が表示されます。ステータス画面では、ファームウェアのバージョン、無線の構成、WAN の構成などを確認することができます。

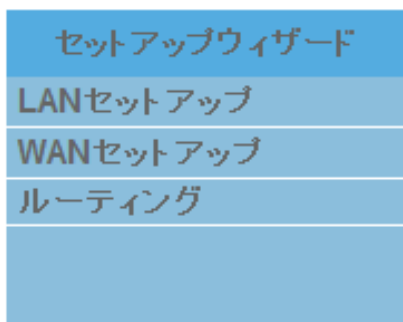
他の画面を表示しているときに、画面のトップにある「ステータス」をクリックすると、この画面に戻ります。

3.2　ネットワーク

「ネットワーク」画面で、LAN や WAN 関連の項目を設定することができます。IP アドレスの変更、DHCP 機能、WAN 側設定、パススルー、静的ルーティングなどの設定は「ネットワーク」画面で設定内容を変更してください。

他の画面を表示しているときに、画面のトップにある「ネットワーク」をクリックすると、この画面に戻ります。

ステータス　ネットワーク　無線LAN　セキュリティ　管理

ネットワーク画面には、「LAN セットアップ」、「WAN セットアップ」、「ルーティング」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

3.2.1 LAN セットアップ

ここでは、LAN の各種設定を行います。

LANセットアップ

LANの各種設定を行います。

LAN設定

IPアドレス	192.168.111.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DHCPモード	自動
IPアドレス範囲	192.168.111.100 - 192.168.111.200

適用　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
IP アドレス	本製品の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	本製品のデフォルトゲートウェイを設定します。
DHCP モード	DHCP サーバ機能の使用を選びます。 無効:DHCP サーバ機能を無効にします。 クライアント:別の DHCP サーバから IP アドレスを取得します。 サーバ:DHCP サーバとして起動します。 自動:DHCP 機能の有効、無効を自動的に切り替えます。 DHCPモード　自動 IPアドレス範囲　無効 / クライアント / サーバ / 自動
IP アドレス範囲	上記 DHCP モードが「サーバ」のとき、DHCP にて IP アドレスを割り振る範囲を指定します。 IPアドレス範囲　192.168.111.100 - 192.168.111.200

	「クライアントを表示する」をクリックすると、接続中のクライアントリストが表示されます。
固定 IP アドレス設定	固定 DHCP の設定を行います。登録した MAC アドレスの機器には常に同じ IP アドレスが割り当てられます。 (1) 「固定 DHCP アドレスを有効にする」にチェックを入れます。 (2) 固定 DHCP アドレスで使用する端末の IP アドレスを入力します。 (3) 固定 DHCP アドレスで使用する端末の MAC アドレスを入力します。 (4) 端末名をコメントに入力します。 (5) [適用]をクリックします。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.2.2 WAN セットアップ

WAN ポートのインターネット接続の設定をします。WAN ポートの接続方法には固定 IP アドレス、DHCP、PPPoE があります。

※このメニューはルータモードで動作しているときのみ表示されます。

WAN設定

WANの種類　DHCP接続

Internet側に存在するDHCPサーバからIPアドレスを自動取得します。多くのCATV接続がこの方式を採用しています。ネットワーク機器側に何の設定も必要とせずモデム等と通信可能であった環境の場合は、プロバイダがこの方式を採用している可能性が高いと考えられます。

ホスト名　PCI

MTU値　1492　(1400~1492 bytes)

◉ DNS自動設定

○ DNS手動設定

DNS 1　211.11.34.5

DNS 2

DNS 3

WAN詳細設定

MACアドレスコピー　000000000000　[MACコピー]

☑ UPnPを有効にする

☐ IGMPプロキシを有効にする

☐ WAN側からのPINGを有効にする

☐ WAN側からのサーバ接続を有効にする

☑ IPsecパススルーを有効にする

☑ PPTPパススルーを有効にする

☑ L2TPパススルーを有効にする

☑ IPv6パススルーを有効にする

各設定項目の内容は以下の通りです。

■DHCP 接続での設定のとき

（1）「DHCP 接続」を選びます。

（2）ホスト名を半角英数で任意に入力します。

※初期値は｢PCI｣です。

（3）MTU 値を指定します。

※通常は初期値の｢1492｣にて設定します。MTU の最適値については、プロバイダ及び接続コースによって異なりますので、変更する場合はご利用のプロバイダにご確認ください。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

■PPPoE での設定のとき

（1） 「PPPoE 接続」を選びます。

（2） 「PPPoE」を選びます。

（3） プロバイダから指定されたユーザ名（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角英数で入力します。

（4） プロバイダから指定されたパスワード（例:abcDEF123）を半角英数で入力します。

（5） サーバ名を半角英数で任意に入力します。

（6） 接続タイプを「常時接続」「オンデマンド」「手動設定」から選びます。

常時接続：常にインターネットに接続します。

※通常は初期値のこちらを選択します。

オンデマンド：インターネットへの接続要求があったときに接続し、指定時間で切断します。

※オンデマンドを選択したときは、「アイドルタイム」に接続要求が無くなってから自動的に切断するまでの時間を指定します。

手動設定：手動にて接続及び切断設定を行います。

※インターネット接続するときは[接続]を、インターネット接続を終了するときは[切断]を、毎回この画面でクリックします。

（7） MTU 値を指定します。

※通常は初期値の「1452」にて設定します。MTU の最適値については、プロバイダ及び接続コースによって異なりますので、変更する場合はご利用のプロバイダにご確認ください。

WAN設定

WANの種類	PPPoE接続	(1)

PPPoEプロトコルを使用して、プロバイダからIPアドレスを自動取得します。PPPoEサーバからIPアドレスを取得するためには、接続先ユーザ名と接続先パスワードが必要となります。

PPPoEタイプ	PPPoE	(2)
マルチPPPoE接続先	ネクスト 東日本	
ユーザ名		(3)
パスワード		(4)
サーバ名		(5)
接続タイプ	常時接続 接続 切断	(6)
待機時間	5 (1-1000 分)	
MTU値	1452 (1360~1492 bytes)	(7)

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

■マルチ PPPoE（Flet's Square）での設定のとき

（1） 「PPPoE 接続」を選びます。

（2） 「マルチ PPPoE」を選びます。

（3） 「ネクスト東日本」、「ネクスト西日本」、「フレッツ東日本」、「フレッツ西日本」を選びます。

（4） プロバイダから指定されたユーザ名 1（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角英数で入力します。

（5） プロバイダから指定されたパスワード 1（例:abcDEF123）を半角英数で入力します。

（6） 接続タイプを「常時接続」「オンデマンド」「手動設定」から選びます。

常時接続：常にインターネットに接続します。

※通常は初期値のこちらを選択します。

オンデマンド：インターネットへの接続要求があったときに接続し、指定時間で切断します。

※オンデマンドを選択したときは、「アイドルタイム」に自動的に切断するまでの時間を指定します。

手動設定：手動にて接続及び切断設定を行います。

※インターネット接続するときは[接続]を、インターネット接続を終了するときは[切断]を、クリックします。

（7） MTU 値を指定します。

※通常は初期値の「1452」にて設定します。MTU の最適値については、プロバイダ及び接続コースによって異なりますので、変更する場合はご利用のプロバイダにご確認ください。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

■固定 IP 接続での設定のとき

（1） 「固定 IP 接続」を選びます。

（2） プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された IP アドレスを半角英数で入力します。

（3） プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたサブネットマスクを半角英数で入力します。

（4） プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたデフォルトゲートウェイを半角英数で入力します。

（5） プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された MTU 値を半角英数で入力します。

※初期値は「1500」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

以下は共通の項目です。

項目名	動作
DNS 自動設定/ DNS 手動設定	DNS の指定方法を選びます。 特に指定が無いときは「自動設定」を選びます。プロバイダやネットワーク管理者から DNS の指定があるときは、「手動設定」を選び、「DNS 1～3」に入力します。 ※「固定 IP 接続」のときは「自動設定」は表示されません。
MAC アドレスコピー	[MAC アドレスコピー]をクリックすると、設定用パソコンの MAC アドレスをコピーします。
UPnP を有効にする	UPnP 機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
IGMP プロキシを有効にする	IGMP プロキシ機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
WAN 側からの PING を有効にする	WAN 側からの PING を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	WAN 側からのサーバ接続を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
IPv6 パススルーを有効にする	IPv6 パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.2.3 ルーティング

ここでは、ルーティングテーブルの設定を行います。

※このメニューはルータモードで動作しているときのみ表示されます。

■動的ルーティング

動的ルーティング設定

☐動的ルーティングを有効にする

NAT ○有効 ◉無効

送信 ◉無効 ○RIP 1 ○RIP 2

受信 ◉無効 ○RIP 1 ○RIP 2

[適用] [リセット]

項目名	動作
動的ルーティングを有効にする	動的ルーティングを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
NAT	「NAT」を設定します。 ※通常はルータの機能を使用する為、「無効」に設定します。
送信	本製品が送信する RIP の種類を設定します。 「RIP1」：RIPv1 によるルート情報の送信を行います。 「RIP2」：RIPv2 によるルート情報の送信を行います
受信	本製品が受信する RIP の種類を設定します。 「RIP1」：RIPv1 によるルート情報の受信を行います。 「RIP2」：RIPv2 によるルート情報の受信を行います。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

■静的ルーティング

静的ルーティング設定

☐静的ルーティングを有効にする

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

メトリック

インターフェース　LAN

項目名	動作
静的ルーティングを有効にする	静的ルーティングを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
IP アドレス	送信先ネットワークの IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	送信先ネットワークのサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	送信先のゲートウェイを入力します。
メトリック	ルーティングテーブルのメトリック（優先順位）を入力します。 番号の若いメトリックのルーティングが優先的に処理されます。
インターフェース	ルーティング対象のインターフェースを「WAN」または「LAN」から選びます。 インターフェース　WAN / WAN / LAN ※初期値は「WAN」です。 ※一般のブロードバンド回線では使用しません。動作については、サポート対象外とさせていただきます。
ルーティング一覧	登録されたルーティング一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

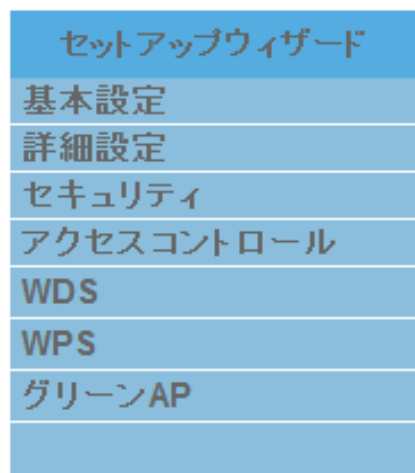
3.3 無線 LAN

「無線 LAN」画面で、無線 LAN 関連の項目を設定することができます。SSID、セキュリティ設定、WPS、などの設定は「無線 LAN」画面で設定内容を変更してください。

他の画面を表示しているときに、画面のトップにある「無線 LAN」をクリックすると、この画面に戻ります。

ステータス	ネットワーク	無線LAN	セキュリティ	管理

無線画面には、「基本設定」、「詳細設定」、「セキュリティ」、「アクセスコントロール」、「WDS」、「WPS」、「グリーンAP」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

セットアップウィザード
基本設定
詳細設定
セキュリティ
アクセスコントロール
WDS
WPS
グリーンAP

各設定については、以下の説明を参照してください。

3.3.1　基本設定

ここでは、無線 LAN の基本設定を行います。

無線基本設定

無線機能を無効にする

無線モード　2.4 GHz (B+G+N)

APモード　AP+WDS　仮想AP

ネットワークタイプ　インフラストラクチャ

SSID　ap-pc-

チャンネル幅　40MHz

チャンネル　自動

SSIDの通知　有効

WMM　有効

伝送速度　自動

関連クライアント　接続機器の表示

適用　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
無線機能を無効にする	無線機能を無効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は有効です。 ※無効にすると無線 LAN 接続不可になりますのでご注意ください。

無線モード	無線モードを選びます。 「2.4GHz（B）」：IEEE802.11b のみで通信します。 「2.4GHz（G）」：IEEE802.11g のみで通信します。 「2.4GHz（N）」：IEEE802.11n のみで通信します。 「2.4GHz（B+G）」：IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信します。 「2.4GHz（G+N）」：IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。 「2.4GHz（B+G+N）」：IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。 通常は、ここを選びます。 無線モード 2.4 GHz (B+G+N) APモード 2.4 GHz (B) 2.4 GHz (G) ネットワークタイプ 2.4 GHz (N) 2.4 GHz (B+G) SSID 2.4 GHz (G+N) 2.4 GHz (B+G+N) ※初期値は「2.4GHz（B+G+N）」です。 ※コンバータモードのときは設定できません。
AP モード	無線 LAN アクセスポイントのモードを選びます。 「AP」：無線 LAN アクセスポイントとして通信します。 「WDS」：WDS モードで通信します。 「AP＋WDS」：無線 LAN アクセスポイント、WDS 両方使用可能になります。
ネットワーク名（SSID）	ネットワーク名（SSID）を半角英数で入力します。 ※初期値は「ap-pc-●●●●●●」です。●部分は製品毎に異なります。
仮想 AP	仮想 AP 機能を使用することで、最大 5 つのアクセスポイントを設定することができます。 ※SSID ＋ AP 1 ～ AP 4 の計 5 つ [仮想 AP]をクリックすると、仮想 AP 一覧画面が表示されますので、この画面で AP 1 ～AP 4 の設定を行います。 仮想AP一覧 No. / 有効 / 無線モード / SSID / 伝送速度 / SSIDの通知 / WMM / 接続許可 / クライアント AP1 / ☑ / 2.4 GHz (B+G+N) / ap-game- / 自動 / 有効 / 有効 / LAN+WAN / 一覧表示 AP2 / ☐ / 2.4 GHz (B+G+N) / / 自動 / 有効 / 有効 / LAN+WAN / 一覧表示 AP3 / ☐ / 2.4 GHz (B+G+N) / / 自動 / 有効 / 有効 / LAN+WAN / 一覧表示 AP4 / ☐ / 2.4 GHz (B+G+N) / / 自動 / 有効 / 有効 / LAN+WAN / 一覧表示 適用 リセット ※初期値は「AP1：ap-game-●●●●●●」です。●部分は製品毎に異なります。
チャンネル幅	チャンネル幅を「20MHz」または「20MHz＋40MHz」から選びます。 チャンネル幅 40MHz チャンネル 20MHz 40MHz ※初期値は「20MHz＋40MHz」です。

SSID 通知	SSID を第三者に見られたくないとき、「無効」にします。 ※初期値は「有効」です。
WMM	データ伝送機能の WMM を使用しないとき、「無効」にします。 ※初期値は「有効」です。
伝送速度	伝送速度に制限を掛けるとき、1Mbps～54Mbps、MCS0～MCS15 の範囲で設定します。 ※初期値は「自動」です。
接続中のクライアント	[接続機器の表示]をクリックすると、無線クライアントとの通信情報を表示します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.2 詳細設定

ここでは、無線 LAN の詳細設定を行います。　※通常、設定の必要はありません。

無線詳細設定

フラグメントしきい値　2346 (256-2346)

RTSしきい値　2347 (0-2347)

ビーコン間隔　100 (20-1024 ms)

プリアンブルタイプ　◉ ロングプリアンブル　○ ショートプリアンブル

IAPP　◉ 有効　○ 無効

Protection　○ 有効　◉ 無効

Aggregation　◉ 有効　○ 無効

Short GI　◉ 有効　○ 無効

WLAN Partition　○ 有効　◉ 無効

STBC　○ 有効　◉ 無効

20/40MHz Coexist　○ 有効　◉ 無効

RF Output Power　◉ 100%　○ 70%　○ 50%　○ 35%　○ 15%

適用　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を 256～2346 の間で設定します。 設定したサイズよりも大きなパケットを送信するとき、パケットを分割して、送信します。 ※初期値は「2346」です。
RTS しきい値	RTS しきい値を 1～2347 の間で設定します。 RTS しきい値とは、本製品が無線 LAN 機器へパケットを送信する前に、同一ネットワーク内（SSID が同じ無線 LAN 機器）へ送信する RTS（Request To Send：送信要求）信号を送信するかどうかを決めるための境界値（＝しきい値）のことです。 ※初期値は「2347」です。
ビーコン間隔	ビーコン間隔を 20～999 の間で設定します。 ビーコンとは無線ネットワークを同期させるためにアクセスポイントから一定間隔で送信するパケットのことです。 ビーコン間隔を小さくすると、クライアントの接続効率が上がりますが、通信効率が下がります。 ※初期値は「100」です。

プリアンブルタイプ	「ショートプリアンブル」、「ロングプリアンブル」から選びます。 「ショートプリアンブル」のとき、無線 LAN 間の通信速度が速くなりますが、ショートプリアンブルに対応していないクライアントのとき、通信できなくなる恐れがあります。この場合は、「ロングプリアンブル」に設定してください。 ※初期値は「ロングプリアンブル」です。
LAPP	複数の無線 AP をまたぐ場合、同一の IP アドレスを維持します。 ※初期値は「有効」です。
Protection	無線 LAN 子機との通信に RTS/CTS フロー制御を行う場合有効にします。 接続する無線 LAN 子機が少ない場合は、「無効」、多い場合は、「有効」にすると、通信速度が向上する場合があります。 ※初期値は「無効」です。
Aggregation	複数のパケット群のグループ化と帯域の増加のための送信を有効化します。 ※初期値は「有効」です。
Short GI	通信を高速化する Short GI 機能を有効にします。 ※初期値は「有効」です。
WLAN Partition	無線 LAN の接続機器同士の通信を遮断します。「有効」にした場合、ルータに接続されたプリンタなど、利用ができなくなります。 ※初期値は「無効」です。
STBC	通信路情報(CSI)を必要としない、時空間ブロック符号(STBC)を有効にします。 ※初期値は「無効」です。
20/40MHz 自動	20/40MHz 共存方式を設定にします。 「有効」にすると、「20MHz」と「40MHz」 を混在させます。 ※初期値は「無効」です。
無線周波数出力	出力強度を設定します。 ※初期値は「100%」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.3　セキュリティ

ここでは、無線 LAN の詳細設定を行います。暗号化キーを用いた WEP または WPA を設定し、無線 LAN ネットワークへの不正アクセスを防止できます。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
SSID の選択	暗号化を設定する SSID を選びます。 仮想 AP を設定しているときは、リストから該当する SSID を選びます。

【WEP のとき】

暗号化方式　WEP
認証方式　オープン　共有　自動
キー長　64-bit
キーフォーマット　16進数 (10 桁)
暗号キー　**********

暗号化方式　:「WEP」を選びます。

認証方式　:「オープン」または「シェアードキー」のいずれかを選びます。

キー長　:「64-bit」または「128-bit」を選びます。

キーフォーマット　:「16 進数」または「ASCII」を選びます。

※キー長の設定によって、文字数が表示されます。

暗号キー　:暗号キーを任意に半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数	ASCII
64-Bit	10 桁	5 文字
128-Bit	26 桁	13 文字

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※ASCII の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

【WPA・WPA2・WPA2 Mixed のとき】

暗号化方式	WPA-Mixed
認証方式	◉ パーソナル (プレシェアードキー)
WPA 暗号化	☐ TKIP ☑ AES
WPA2 暗号化	☐ TKIP ☑ AES
キーフォーマット	パスフレーズ
プレシェアードキー	12345678

暗号化方式　:「WPA」「WPA2」「WPA2 Mixed」のいずれかを選びます。

認証方式　:パーソナル（プレシェアードキー）のみになります。

WPA/WPA2 暗号化　:「TKIP」「AES」のいずれか、または両方にチェックを入れます。
※「WPA」及び「WPA2」のときは「AES」のみ、「WPA2 Mixed」のときは「TKIP」と「AES」の両方のチェックが可能です。

プレシェアードキー　:任意に 8～63 文字の半角英数で入力します。
※入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.4 アクセスコントロール

ここでは、無線による本製品への接続を制限します。アクセスポリシーが「許可」の場合、登録機器のみ接続できます。「拒否」の場合、登録機器は本製品へ接続できません。

※このメニューはルータモードで動作しているときのみ表示されます。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
アクセスポリシー	「許可」または「拒否」を選びます。 許可：登録機器のみ無線接続が可能になります。 拒否：登録機器は無線接続が不可になります。 ※初期値は「無効」です。
MAC アドレス	登録する機器の MAC アドレスを入力します。
コメント	任意でコメントを入力します。
アクセスコントロール一覧	登録した機器の一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.5 WDS

ここでは、WDS（アクセスポイント間通信）の設定を行います。
本項の設定を行う場合には、3.3.1 基本設定にて、AP モードを「WDS」もしくは「AP+WDS」にて設定していることが必要です。

※コンバータモードのときはメニューが表示されません。

WDSの設定

☑ WDSを有効にする

MACアドレス

伝送速度 自動

コメント

[適用] [リセット] [セキュリティ設定] [統計情報の表示]

WDSのAP一覧

MACアドレス	Txレート(Mbps)	コメント	選択

[選択項目の削除] [すべてを削除] [リセット]

項目名	動作
WDS を有効にする	WDS 機能を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
MAC アドレス	本機と WDS 接続を行う機器の MAC アドレスを入力します。
伝送速度	伝送速度に制限を掛けるとき、1Mbps～54Mbps、MCS0～MCS15 の範囲で設定します。 ※初期値は「自動」です。 ※接続先の機器と同じ設定にする必要があります。
コメント	コメントを半角英数字にて任意に入力できます。

[適用]をクリックして設定内容を保存し、再起動後「セキュリティ設定」をクリックします。

セキュリティ設定はアクセスポイント間通信を行う機器の設定をすべて同一に設定する必要があります。

<table>
<tr><th>項目名</th><th>動作</th></tr>
<tr><td colspan="2">【WEP のとき】

WDS Security Setup
暗号化方式　WEP 64bits
WEPフォーマット　ASCII (5 文字)
WEPキー　*****
キーフォーマット　パスフレーズ
プレシェアードキー
適用　リセット

暗号化方式　:「WEP64bits」、「WEP128bits」を選びます。
キーフォーマット　:「16 進数」または「ASCII」を選びます。
※キー長の設定によって、文字数が表示されます。
キー長　:「64-bit」または「128-bit」を選びます。
キーフォーマット　:「16 進数」または「ASCII」を選びます。
※キー長の設定によって、文字数が表示されます。
WEP キー　:暗号キーを任意に半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

（　｜16 進数｜ASCII）
64-Bit｜10 桁｜5 文字
128-Bit｜26 桁｜13 文字

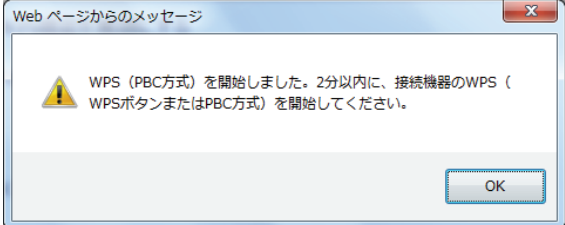
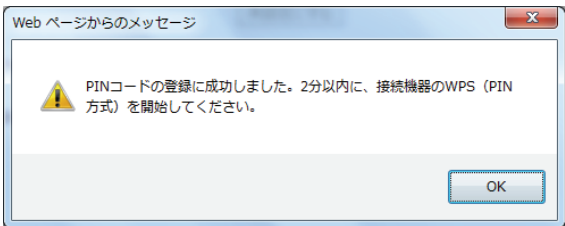
※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。
※ACSII の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【WPA2-AES のとき】

WDS Security Setup
暗号化方式　WPA2 (AES)
WEPフォーマット　ASCII (5 文字)
WEPキー　*****
キーフォーマット　パスフレーズ
プレシェアードキー
適用　リセット

暗号化方式　:「WPA2（AES）」を選びます。
キーフォーマット　:「パスフレーズ」「16 進数（64 桁）」を選びます。
プレシェアードキー　:パスフレーズを選択に荷は、任意に 8～63 文字の半角英数で入力します。
16 進数を選択時には、0～9、a～f で 64 文字の半角英数で入力します。
※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。
※ACSII の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。</td></tr>
</table>

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.6 WPS

ここでは、WPS の設定を行います。WPS 機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
WPS 機能を無効にする	WPS 機能を無効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は有効です。
WPS ステータス	WPS 接続が行っているか確認できます。 設定済み：WPS 接続を行っています 未設定：WPS 接続は行っていません [未設定にする]をクリックすると、WPS 接続している機器との接続を解除します。
PIN コード	本製品の PIN コードです。 相手側機器との接続に PIN コードの登録が必要なときは、このコードを指定します。
PBC 方式	PBC ボタンを使って相手側機器と接続します。 [PBC 開始]をクリックすると、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。 Web ページからのメッセージ WPS（PBC方式）を開始しました。2分以内に、接続機器のWPS（WPSボタンまたはPBC方式）を開始してください。 OK

接続機器の PIN コード	PIN コードを使って相手側機器と接続します。 相手側機器の PIN コードを入力し、[PIN 開始]をクリックすると、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。 Web ページからのメッセージ PINコードの登録に成功しました。2分以内に、接続機器のWPS（PIN方式）を開始してください。 OK

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.3.7 グリーン AP

ここでは、グリーン AP 機能により指定した時間内のみ無線機能を有効にすることができます。
※機能を有効にする前に、本製品の時刻設定を必ず行ってください。

グリーンAPの設定

グリーンAPを有効にする

曜日 毎日

日 月 火 水 木 金 土

時間 1日

開始 00 : 00 終了 00 : 00

適用 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
グリーン AP を有効にする	グリーン AP 機能を無効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
曜日	指定する曜日を「毎日」または「月～土」から選びチェックを入れます。
時間	指定する時間を「1 日」または「開始～終了」時間を設定します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.4 セキュリティ

「セキュリティ」画面で、ポートやフィルタ関連の項目を設定することができます。DMZ、MAC フィルタ、仮想サーバなどの設定はセキュリティ」画面で設定内容を変更してください。

※このメニューはルータモードで動作しているときのみ有効です。

他の画面を表示しているときに、画面のトップにある「セキュリティ」をクリックすると、この画面に戻ります。

ステータス　ネットワーク　無線LAN　セキュリティ　管理

ファイアウォール画面には、「DMZ」、「URL フィルタ」、「MAC フィルタ」、「ポートフィルタ」、「IP フィルタ」、「仮想サーバ」、「VLAN」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

3.4.1 DMZ

ここでは、LAN 上の機器に Internet からアクセスできるように設定します。インターネット側からの通信のうち、仮想サーバに設定されていないすべての通信が DMZ ホストに転送されます。

DMZホスト設定

DMZを有効にする

DMZホスト IPアドレス

適用 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
DMZ を有効にする	DMZ を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
DMZ ホスト IP アドレス	DMZ に指定する LAN 上の機器の IP アドレスを入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.4.2　URL フィルタ

ここでは、登録した URL またはキーワードを含むサイトへの接続を拒否するよう設定します。

URLフィルタ設定

☐ URLフィルタを有効にする

URLまたはキーワード　(最大文字数:30)

(登録できる最大設定数:8)

適用　リセット

URLフィルタ一覧

URLまたはキーワード	選択

選択項目の削除　すべてを削除　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
URL フィルタを有効にする	URL フィルタを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
URL またはキーワード	接続を拒否する URL やキーワードを入力します。
URL フィルタ一覧	登録した URL フィルタの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.4.3　MAC フィルタ

ここでは、登録した MAC アドレスの機器からのみ通信が可能になるよう設定します。

MACフィルタ設定

☐ MACフィルタを有効にする

MACアドレス

コメント　(最大文字数:20)

(登録できる最大設定数:20)

[適用] [リセット]

MACフィルター覧(許可)

MACアドレス	コメント	選択

[選択項目の削除] [すべてを削除] [リセット]

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
MAC フィルタを有効にする	MAC フィルタを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
MAC アドレス	接続を許可する機器の MAC アドレスを入力します。
コメント	コメントを任意で入力します。
MAC フィルター覧	登録した MAC フィルタの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

※MAC フィルタ機能を使用するときは、はじめに設定用パソコンの MAC アドレスを登録してください。設定用パソコンの MAC アドレスを登録しないと、設定画面へのログインができなくなりますので、ご注意ください。

3.4.4 ポートフィルタ

ここでは、登録したポート番号を開放し、開放したポート番号を利用する通信のみ可能となる設定をします。

ポートフィルタ設定

ポートフィルタを有効にする

ポート番号の範囲 -

プロトコル TCP/UDP

コメント (最大文字数:20)

(登録できる最大設定数:20)

適用 リセット

ポートフィルタ一覧(許可)

ポート番号の範囲	プロトコル	コメント	選択

選択項目の削除 すべてを削除 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ポートフィルタを有効にする	ポートフィルタを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
ポート番号の範囲	ポート番号の範囲を指定します。 例:「4321」-「4321」など
プロトコル	通信するプロトコルを「TCP」「UDP」「TCP/UDP」から選びます。 プロトコル TCP/UDP TCP/UDP TCP UDP ポート番号の範囲
コメント	コメントを任意で入力します。
ポートフィルタ一覧	登録したポートフィルタの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.4.5 IP フィルタ

ここでは、登録した IP アドレスの機器からの指定したプロトコルでの通信のみ可能となる設定をします。

IPフィルタ設定

IPフィルタを有効にする

ローカルIPアドレス

プロトコル　TCP/UDP

コメント　(最大文字数：20)

(登録できる最大設定数：20)

適用　リセット

IPフィルタ一覧(許可)

ローカルIPアドレス	プロトコル	コメント	選択

選択項目の削除　すべてを削除　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
IP フィルタを有効にする	IP フィルタを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
ローカル IP アドレス	接続を許可する機器の IP アドレスを入力します。
プロトコル	通信を許可するプロトコルを「TCP」、「UDP」、「TCP/UDP」から選びます。 プロトコル　TCP/UDP TCP/UDP TCP UDP コメント
コメント	コメントを任意で入力します。
IP フィルター覧	登録した IP フィルタの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.4.6 仮想サーバ

ここでは、登録したポート番号へのアクセスを、LAN 内の特定の機器に設定します。

仮想サーバ設定

仮想サーバを有効にする

IPアドレス

プロトコル　TCP/UDP

ポート番号の範囲

コメント　(最大文字数:20)

(登録できる最大設定数:20)

適用　リセット

ポート転送一覧

IPアドレス	プロトコル	ポート番号の範囲	コメント	選択

選択項目の削除　すべてを削除　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
仮想サーバを有効にする	仮想サーバを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
IP アドレス	ポート開放する機器の IP アドレスを入力します。
ポート番号の範囲	ポート番号の範囲を指定します。 例:「4321」–「4321」など
プロトコル	通信するプロトコルを「TCP」、「UDP」、「TCP/UDP」から選びます。 プロトコル　TCP/UDP ポート番号の範囲　TCP/UDP TCP UDP
コメント	コメントを任意で入力します。
ポートフィルタ一覧	登録した仮想サーバの一覧が表示されます。

3.4.7 VLAN

ここでは、各ネットワークを任意に分割し、ネットワークグループを作ることができます。
また通信ポートや、無線 SSID 単位で通信の優先順位の設定を行うことができます。

VLANの設定

☐ VLANを有効にする

有効	有線/無線	WAN/LAN	タグ	VID(1~4090)	優先度	CFI
☐	有線 ポート1	LAN	☐	3022	7	☑
☐	有線 ポート2	LAN	☐	3030	0	☑
☐	有線 ポート3	LAN	☐	500	3	☑
☐	有線 ポート4	LAN	☐	1	0	☑
☐	無線 AP	LAN	☐	1	0	☑
☐	仮想 AP1	LAN	☐	1	0	☑
☐	仮想 AP2	LAN	☐	1	0	☑
☐	仮想 AP3	LAN	☐	1	0	☑
☐	仮想 AP4	LAN	☐	1	0	☑
☐	有線 LAN	WAN	☐	1	0	☑

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
VLAN を有効にする	VLAN を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
有効	有線ポート、無線の SSID ごとに VLAN 機能の有効、無効の切り替えを行います。
タグ	指定ポートの通信にネットワークタグを追加します。 同一の VID を持つポート間の通信のみが可能になります。
VID	指定ポートの VID を設定します。1～4090 の半角数字で入力します。
優先度	指定ポートの通信優先度を設定します。優先度が高いポートのトラフィックは優先度の低いポートのトラフィックに優先して帯域が確保されます。
CFI	CFI フラグを有効にします。

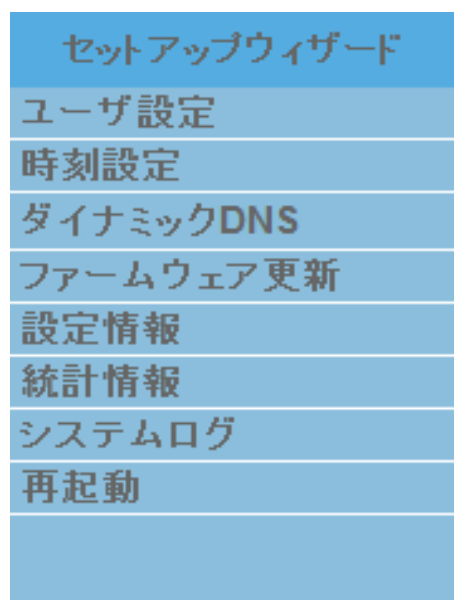
[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.5　管理

「管理」画面で、機器管理関連の項目を設定することができます。時刻設定、ファームウェア更新、各種ログ確認などは「管理」画面で設定・確認をしてください。

他の画面を表示しているときに、画面のトップにある「管理」をクリックすると、この画面に戻ります。

ステータス　ネットワーク　無線LAN　セキュリティ　管理

管理画面には、「ユーザ設定」、「時刻設定」、「ダイナミック DNS」、「ファームウェア更新」、「設定情報」、「統計情報」、「システムログ」、「再起動」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

3.5.1 ユーザ設定

ここでは、設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定します。

ユーザアカウントの設定

半角文字を入力してください。

ユーザ名

新しいパスワード

パスワードの確認

(最大文字数:30)

適用　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ユーザ名	本製品設定画面にログインするときのユーザ名を入力します。 ※初期値は「admin」です。
新しいパスワード	本製品設定画面にログインするときのパスワードを入力します。 ※初期値は「password」です。
パスワードの確認	入力間違いを防ぐ為、もう一度パスワードを入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.5.2 時刻設定

ここでは、パソコンと同期または NTP サーバを利用し、時刻を設定します。

時刻の設定

現在の時刻　2010 年 11 月 22 日 17 時 58 分 1 秒

PCと同期

タイムゾーンの選択　(GMT+09:00)東京

NTP機能を有効にする

夏時間の自動調整を有効にする

NTPサーバ　203.117.180.36 - アジア太平洋

(IPアドレス設定)

(ドメイン名設定)

適用　リセット　更新

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
現在の時刻	現在の時刻を手動で入力します。 [PC と同期]をクリックすると、設定用パソコンの時刻と同期します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選びます。 ※初期値は「(GMT＋09:00)東京」です。
NTP 機能を有効にする	NTP 機能を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
夏時間の自動調整を有効にする	夏時間(サマータイム)を自動調整するときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
NTP サーバ	NTP サーバを設定します。 各国の NTP サーバから選ぶ以外にも、IP アドレスやドメイン名で NTP サーバを指定する事ができます。 ※初期値は「203.117.180.36 － アジア太平洋」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.5.3 ダイナミック DNS

ここでは、DDNS サービスに登録しているユーザ名、パスワード等を本製品に設定することで、本製品の WAN 側の IP アドレスを定期的にダイナミック DNS サービスに通知する設定をします。
本製品は、「CyberGate – DDNS –」、「DynDNS」のダイナミック DNS サービスに対応しています。

ダイナミックDNS設定
DDNSを有効にする
DDNSプロバイダ Cybergate
ユーザ名 .luna.ddns.vc
CyberGateのログインIDと同じサブドメインを入力してください。同じホスト名を、あらかじめCyberGate -DDNS-で登録してください。
パスワード
結果
適用 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ダイナミック DNS を有効にする	ダイナミック DNS を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
DDNS プロバイダ	DDNS サービスを登録している「DynDNS」または「Cybergate」を選びます。 DDNSプロバイダ Cybergate ユーザ名 Cybergate / DynDNS .luna.ddns.vc
ドメイン名	DDNS サービスで登録したドメイン名（Dynamic DNS Hosts）を入力します。 ※Cybergate を選択しているときは表示されません。
ユーザ名	DDNS サービスで登録したユーザ名（Username）を入力します。 ※Cybergate で設定するときには、ユーザ名に登録した「サブドメイン名」を入力し、右側のプルダウンメニューから登録したドメイン名を選択してください。
パスワード/キー	DDNS サービスで登録したパスワードを入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

3.5.4 ファームウェア更新

ここでは、ファームウェアを更新します。
下記弊社のホームページより最新のファームウェアがあるときはダウンロードできます。
http://www.planex.co.jp/support/download/
あらかじめ弊社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、パソコンのハードディスクなどに保存しておいてください。

ファームウェア更新
ファームウェアバージョン MZK_
ファイル選択 参照...
開始 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
ファイル選択	ファームウェアを指定します。 [参照]をクリックして、予め保存した新しいファームウェアファイルを指定します。

[開始]をクリックすると、ファームウェアのアップデートを開始します。
ファームウェアの更新が完了すると、本製品が再起動します。

3.5.5　設定情報

ここでは、現在の設定情報を保存や読み込み設定をしたり、初期化したりします。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
設定の保存	現在の設定情報を保存します。 [保存]をクリックすると以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックして設定ファイルをハードディスクなどに保存します。 ファイルのダウンロード このファイルを保存しますか、または開くためのプログラムをオンラインで検索しますか? 名前: config.bin 種類: 不明なファイルの種類, 2.83 KB 発信元: 192.168.111.1 検索(F)　保存(S)　キャンセル インターネットのファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピューターに問題を起こすものもあります。発行元が信頼できない場合、このファイルを開いたり保存したりするためのプログラムは検索しないでください。危険性の詳細
設定の復元	設定情報を保存したファイルを読み込み復元します。 [参照]をクリックして、予め保存した設定ファイルを指定した後、[開始]をクリックすると、設定情報を読み込みます。 読み込みが完了すると、本製品が再起動します。
設定の初期化	本製品を工場出荷時状態に戻します。 [リセット]をクリックすると、本製品が再起動し初期化します。 ※初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

3.5.6 統計情報

ここでは、無線 LAN ネットワークと有線ネットワークの通信情報を表示します。

無線LAN	
送信したパケット数	9623
受信したパケット数	611108

仮想AP1	
送信したパケット数	9623
受信したパケット数	581841

有線 LAN	
送信したパケット数	3577
受信したパケット数	7963

有線 WAN	
送信したパケット数	4533
受信したパケット数	0

更新

[更新]をクリックすると、最新の情報に更新します。

3.5.7 システムログ

ここでは、システム情報を表示します。

システムログ

システムログ機能を有効にする

すべての情報　無線　DoS

リモートログを有効にする　ログサーバのIPアドレス

適用

項目名	動作
システムログ機能を有効にする	システムログを有効にするときには、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
すべての情報	システムログに表示する内容を選択します。 「無線」: 本製品に接続したネットワーク内のログを出力します。 「DoS」: 外部からのネットワーク攻撃などの不正アクセスを出力します。
リモートログを有効にする	ログを外部のログサーバ(ログサーバなど)に出力します。 「ログサーバの IP アドレス」にアップロードを行うログサーバの IP アドレスを入力してください。 ※　別途ログサーバ、syslog　サーバが必要になります。

[更新]をクリックすると、最新の情報に更新します。

[クリア]をクリックすると、ログを消去します。

3.5.8 再起動

ここでは、本製品を再起動することができます。

システム再起動

再起動

[再起動]をクリックすると、本製品が再起動します。

3.6 言語切り替え

本製品は設定画面の言語を切り替えることができます。

（1） 設定画面右上から「日本語」または「英語」を選びます。
（2） [適用]をクリックすると言語が切り替わります。

(2)

(1)

第 4 章:コンバータモードで使用する

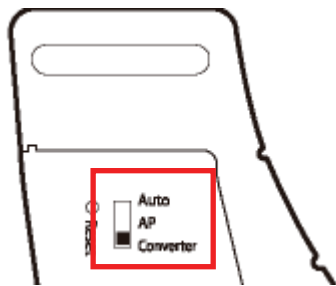
ここでは本製品をコンバータモードで使用する手順を紹介します。

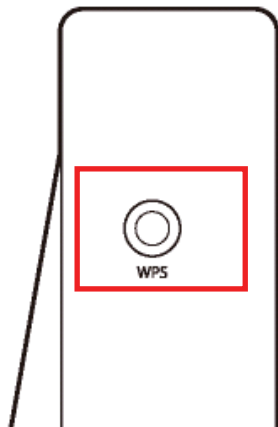
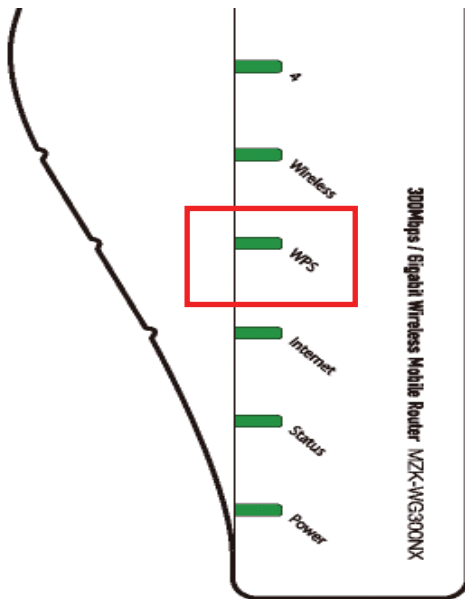
●設定に使用するパソコンが無線 LAN 通信しているときは、無線 LAN を無効にしてください。

4.1 親機を確認する

1. お使いの無線 LAN ルータ(親機)が問題なくインターネットに接続できることを確認します。
2. お使いの無線 LAN ルータ(親機)が WPS 機能に対応しているか確認します。
   無線 LAN ルータに付属の取扱説明書などを参照しご確認ください。

4.2 親機につなげる(WPS ボタン)

1. 本体のモード切替スイッチを「Converter」に変更します。

2. 本体の電源コンセントとコンセントを付属の AC アダプタで接続します。

3. 無線 LAN ルータ(親機)の WPS ボタンを押し、2 分以内に次の操作を行います。
   本体背面の「WPS ボタン」を 3 秒程度長押しして、離します。

4.　本体上面の「WPS」ランプが点滅することを確認してください。

5.　接続が完了すると本製品上面の「WPS」ランプが点灯後、3 秒程度消灯し、再び点灯します。

ご注意：

●WPS ランプが点滅のときは、まだ接続されていません。

●WPS ランプが点滅しないときは、手順 1 からやり直してください。

●WPS ランプが 3 秒程度消灯せずに WPS ランプが点灯したときや、2 分以上経過したときは接続が確立していません。手順 1 からやり直してください。

6.　無線設定は完了です。

本製品に接続している AC アダプタを取り外し、接続したいネットワーク機器（Xbox360、ネットワーク対応テレビ PS3、パソコン）に接続してください。

4.3 親機につなげる（手動設定）

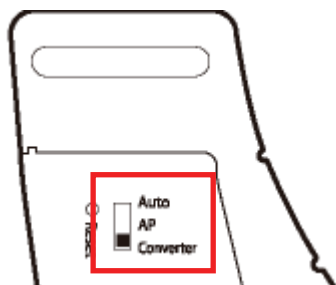
●手動で親機と接続するときや、左記の「WPS ボタン編」で親機とうまく接続できないときは、こちらを参照してください。

●設定に使用するパソコンが無線 LAN 通信しているときは、無線 LAN を無効にしてください。

1. 接続するネットワークを調べる
   接続先の無線 LAN ルータ（または無線 LAN アクセスポイント）のセキュリティ情報を確認し以下の表を埋めます。

	名称	接続先のセキュリティ情報
（イ）	SSID（接続名）	
（ロ）	認証タイプ	□WEP □WPA-PSK □WPA2-PSK
（ハ）	キーの長さ	□64bit □128bit ※表の（ロ）が「WEP」 のとき
（ニ）	暗号化	□TKIP □AES ※表の（ロ）が「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」 のとき
（ホ）	キーフォーマット	□16 進数（Hex） □文字列（ASCII、パスフレーズ）
（ヘ）	暗号キー	

2. 本製品の Ethernet ポートとパソコンの LAN ポートを付属の LAN ケーブルで接続します。

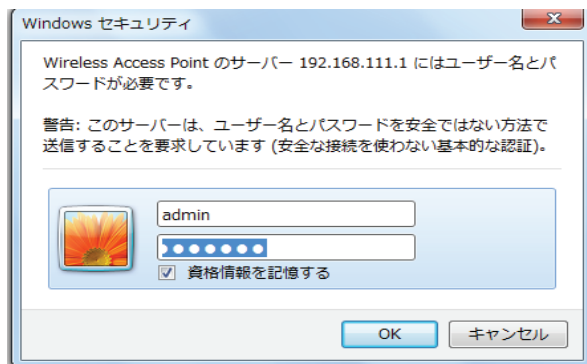
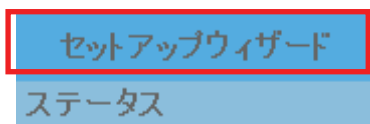
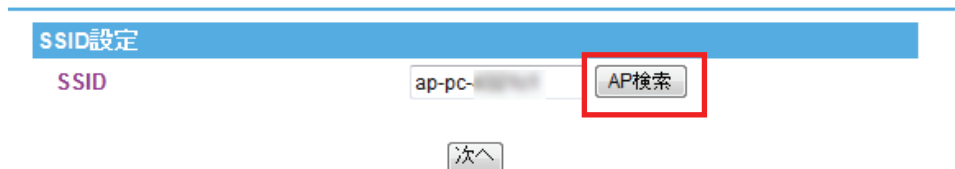
3. 本体のモード切替スイッチを「Converter」に変更してす。

4. 本体の電源コンセントとコンセントを付属の AC アダプタで接続します。

5. パソコンの電源をオンにします。

6. 製品の設定をします。

6-1. WEB ブラウザを起動します。

6-2. アドレス欄に IP アドレス「mf.setup」を入力し、<Enter>を押します。
※「mf.setup」を入力しても WEB 設定画面が表示されないときは、「192.168.1.249」を入力して、手順 3 に進んでください。

6-3. ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
(1)ユーザ名：半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力
(2)パスワード：半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュー・オー・アール・ディー)を入力
(3)[OK]をクリックします。

7. WEB 設定画面のトップページが表示されます。
「セットアップウィザード」をクリックします。

8. [AP 検索]をクリックします。

9.　接続先を選択します。

（1）「AP 一覧」から表（イ）と同じ SSID（接続名）を選びます。

※[選択]にチェックを入れます。

（2）[次へ]をクリックします。

10.　手順 1 に記入した表に合わせた設定を行います。

・表の（ロ）が「WEP」のとき

（1）表の（ハ）と同じキーの長さを選びます。

（2）表の（ホ）と同じキーフォーマットを選びます。

（3）表の（へ）と同じ暗号化キーを入力します。

（4）[完了]をクリックします。

・　表の（ロ）が「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」のとき

（１）表の（ニ）と同じ暗号化を選びます。

（２）表の（ホ）と同じキーフォーマットを選びます。

（３）表の（ヘ）と同じ暗号化キーを入力します。

（４）[完了]をクリックします。

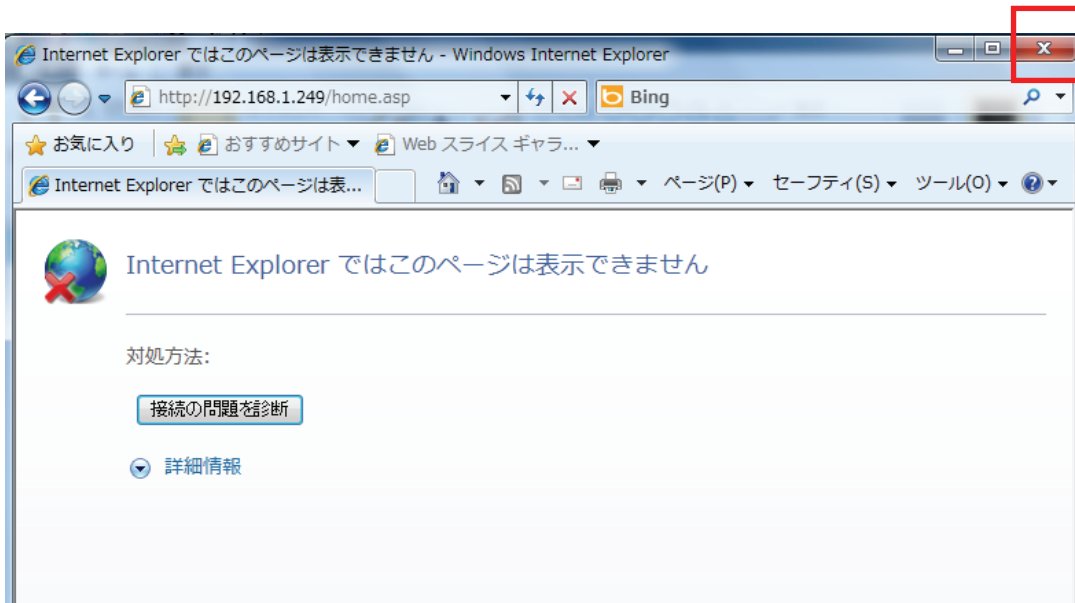
セットアップウィザード

無線セキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いたWEPまたはWPAを設定し、無線LANネットワークへの不正アクセスを防止できます。

11.「設定の変更に成功しました」と表示され、製品が再起動します。

システムメッセージ

設定の変更に成功しました！
電源を切ったり、再起動させないでください。
しばらくお待ちください。 18 秒 ...

12. 製品が再起動後、WEB ブラウザが「表示できません」などと表示されますが、画面右上の「×」をクリックしてWEB ブラウザを閉じます。

13. 無線設定は完了です。
本製品に接続している AC アダプタと LAN ケーブルを取り外し接続したいネットワーク機器（Xbox360、ネットワーク対応テレビ PS3、パソコン）に接続してください。

第 5 章:付録

5.1 製品仕様.

型番	MZK-W300NH3
無線部仕様	
対応規格	IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b
チャンネル数	1～13ch
周波帯域	2.4GHz 帯(2,412～2,472MHz)
伝送速度	IEEE802.11n :最大 300Mbps(40MHz)、最大 150Mbps(20MHz)
	IEEE802.11g:54、48、36、24、18、12、9、6Mbps(自動認識)
	IEEE802.11b:11、5.5、2、1Mbps(自動認識)
伝送方式	IEEE802.11n:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11g:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散(DSSS 方式)
アンテナ利得	3dBi
アンテナ	内蔵アンテナ 2 本(2T2R)
アクセス方式	インフラストラクチャモード
セキュリティ	WPA2-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA2-PSK(暗号化方式:AES)
	WPA-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA-PSK(暗号化方式:AES)
	WEP(キー長:64bit/128bit、キーフォーマット:ASCII/Hex)
	無効(暗号なし)
	SSID 通知(有効/無効)
SSID	マルチ SSID 対応　最大登録数 : 5 件
WDS	WDS 対応
自動無線設定機能	WPS(WPS ボタン、PBC/PIN 方式)
省エネ設定	EEE、ActiveECO
有線部仕様	
対応規格	IEEE802.3u(100BASE-TX)
	IEEE802.3i(10BASE-T)
インターフェース	RJ-45 UTP ポート x5(Internetx1、LANx4、AutoMDI/MDI-X 対応)
伝送速度	100/10Mbps(オートネゴシエーション)
ケーブル	100BASE-TX:カテゴリ 5 以上、10BASE-T:カテゴリ 3 以上

ルータ仕様	
対応 WAN 回線	FTTH、ADSL、VDSL、CATV
WAN 回線自動判別	Auto モード搭載
WAN 設定	IP アドレス自動取得（DHCP クライアント）
	固定 IP アドレス（手動設定）
	PPPoE クライアント
	PPPoE マルチセッション（最大 2 セッション）
	Unnumbered PPPoE
LAN 設定	固定 IP アドレス（手動設定）
	DHCP 自動認識（サーバ/クライアント）
ルーティング機能	動的ルーティング、静的ルーティング
アドレス変換	NAPT（IP マスカレード）
セキュリティ	DMZ、仮想サーバ、各種フィルタリング(URL、MAC、ポート、IP)
IPv6 関連	IPv6 ブリッジ機能(IPv6 パススルー)
VPN 関連	IPsec パススルー、PPTP パススルー、L2TP パススルー
ダイナミック DNS	CyberGate、DynDNS
ハードウェア仕様	
ハードウェアスイッチ	WPS ボタン、モード切り換えスイッチ（Auto/AP/Converter）、リセットボタン
LED	LAN×4、Wireless、WPS、Internet、Power
電源	DC 5V、1A
消費電力	最大約 2.5W
待機電力	約 1.5W
外形寸法	約 152（W）×161（H）×59（D） mm (突起部を除く)
重量	約 300g
動作時環境	温度：0～40℃
	湿度：10%～90%（結露なきこと）
保存時環境	温度：-20～75℃
	湿度：5%～95%（結露なきこと）
その他	
AC アダプタ規格	入力：AC100～240V、50/60Hz
	出力 :DC5V、1A
ログ機能	システムログ
管理機能	リモート管理
時刻設定	NTP サーバ
対応 OS	Windows 7（32bit/64bit）/Vista（32bit/64bit）/XP 日本語版
	Mac OS X 10.6/10.5/10.4（CPU:Intel/PowerPC 対応）
各種設定方法	WEB ブラウザ
保証期間	1 年間

■注意事項

※WEB ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。
※WPS を利用するためには、接続する無線 LAN 機器も WPS に対応している必要があります。
※表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※無線セキュリティの設定に、WEP または TKIP をご利用の際は、IEEE802.11n 本来の通信速度より遅くなる場合があります。
※WPA/WPA2 を利用するためには、接続する無線 LAN 機器も WPA または WPA2 に対応している必要があります。
※WDS 機能は同一機種のみサポートしています。
※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報は、弊社ホームページ(http://www.planex.co.jp)を参照ください。

5.2 トラブルシューティング

もし本製品が正常に動作しないとき、販売店または弊社テクニカルサポートに連絡する前に、本章に記載されているトラブルシューティングをご確認ください。トラブルの解決に役立つ可能性があります。

症状	可能な解決策
電源が入らない	本製品の電源がはいらないときは、次の内容を確認してください。 ・ AC アダプタが正しく接続されているか ・ 同梱品以外の AC アダプタを使用していないか ・ 延長コードやタップを使用しないときはどうか ・ 他のコンセント差込口ではどうか ・ 正しい電源、電圧で使用しているか それでも改善されないときは、恐れ入りますが、本製品の不具合の可能性がございますので、同梱の「はじめにお読みください」裏面記載の保証規定を必ずご確認頂き、ご同意のうえで、修理を依頼してください。 ★同意頂けない場合は、ご購入の販売店にご返却ください。 但し、お客様の過失で製品にキズ、欠損、欠品などがある場合にはご返却できません。
設定画面にログインできない	設定画面にログインできないときは、次の内容を確認してください。 ・ IP アドレスは「自動取得」になっているか ・ 本製品背面のモード切替スイッチが、「Auto」側に切り替わっているか ・ WEB ブラウザにプロキシサーバーの設定をしていないか ・ WEB ブラウザでセキュリティを高く設定していないか ・ セキュリティソフトウェア(ウィルスチェック、ファイアウォールなど)を停止し、改善されるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化し、再度ログインをお試しください。
インターネットに接続できない	インターネットに接続できないときは、次の内容を確認してください。 ・ パソコンの IP アドレスは自動取得になっているか ・ すべての機器の電源を OFF にして、60 分ほどそのままの状態にして改善するか ・ 直接 IP アドレスを入力し、ホームページにアクセスできるか ※ ブラウザのアドレスに「http://210.197.79.10」と入力して<Enter>キーを押して、弊社(プラネックス)のホームページが表示されるか確認してください。 それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、セットアップウィザードをお試しください。
無線 LAN がつながらない	無線 LAN がつながらないときは、次の内容を確認してください。 ・ 本製品と無線 LAN クライアント(子機)との間に距離がないか ・ 本製品と無線 LAN クライアント(子機)との間に障害物がないか

無線 LAN がつながらない	・　電子レンジの傍で接続をしていないか ・　本製品の Wireless ランプ（LED ランプ）は有効（点灯）になっているか ・　無線 LAN アダプタが搭載のパソコンで、無線 LAN のスイッチがオフになっていないか ・　無線 LAN が無効になっていないか ・　ワイヤレスネットワークの IP アドレスが手動設定になっていないか ・　無線 LAN クライアント（子機）に設定されている SSID および無線 LAN セキュリティ設定は本製品と同じになっているか ・　ルータ側の無線チャンネルを変更して改善されるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、セットアップウィザードをお試しください。

5.3 お問合せ

●サポート Q&A 情報（FAQ、よくある質問と答え）
ご質問の前に、まずサポート Q&A 情報をご覧ください。
お問い合わせの情報が掲載されているかお確かめください。

http://faq.planex.co.jp/

●オンラインマニュアル
最新版のマニュアルを参照できます。

http://www.planex.co.jp/support/download/index_manual.shtml

●技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ
製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

＜お問い合わせフォーム＞
http://www.planex.co.jp/support/techform/
受付：24 時間

＜サポートダイヤル＞
0570-064-707
受付：月～金曜日、10 ～ 12 時、13 ～ 17 時（※祝祭日および弊社指定の休業日を除く）

＜ FAX ＞
0570-088-194
受付：24 時間

●弊社製品の追加購入〈PLANEX DIRECT〉

弊社製品のご購入は、販売店様または PLANEX DIRECT まで。
ケーブル 1 本からレイヤ 3 スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

http://direct.planex.co.jp/

●製品に関するお問い合わせ〈ご質問/ お見積もりフォーム〉

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

http://www.planex.co.jp/lan.shtml

●その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

http://www.planex.co.jp/

上記内容は 2012 年 1 月現在の情報です。
内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

●プラネックスコミュニケーションズ、PLANEX COMMUNICATIONS は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。

● Microsoft および Windows は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

● Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。

● Windows 7 は、Microsoft® Windows® 7 operating system の略です。

● Windows Vista は、Microsoft® Windows® Vista operating system の略です。

● Windows XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および、Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

● Macintosh、Mac OS および Apple は、米国 Apple Computer,Inc の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

● Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の認証ロゴマークです。

●その他、記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。